



校長室だより

校長 鳥淵美和子

「笑顔いっぱい かがやく入谷っ子」～児童総会～

今年は梅雨入りが遅く、お天気に恵まれたため、水泳の授業が順調に行われています。プールから子ども達の歓声が聞こえてきて、楽しそうな様子が見えがえします。

さて、先日3年生から6年生の入谷っ子が体育館に集まり、児童総会が行われました。1, 2年生も途中で見学に来ました。「児童総会」とは何ぞやと思う方もいるかと思います。委員会や児童会の活動の説明があり、3年生以上のクラスで投票が行われ入谷っ子目標が決まりました。「何事にも協力して挑戦し、友達思いの入谷っ子」になりました。全員が見ている前で投票が行われ、ワクワク感と共に自分たちで決めた目標だとの気持ちが強まります。そして、特筆すべきは子ども達の本音が聞ける要望・意見のやりとりです。子ども達はどうかしたら入谷小をより良い学校にできるのかを真剣に考え、みんなが笑顔で過ごせる学校にしたいとの意見がたくさん出ました。すぐに実行できない要望もありますが、子ども達の考えた意見は素晴らしく、改善できること、取り組めることはぜひかなえてあげたいと思いました。職員も子ども達の思いに応えるため一人一人が真剣に考え調べます。そして、教職員で話し合いを重ね、子ども達の思いに寄り添ったより良い学校構築に向け、アイデアを出し合います。その一例として、日課の変更がありました。掃除もしっかり行い、休み時間もしっかり確保し、特にロング昼休みは続けさせてあげたい。そして、より良い授業をするために教材研究や準備の時間もどう確保するかなど話し合った結果が今年度の日課表です。このような入谷っ子児童総会は、子ども達の良い経験に必ずなります。学校を創る、行事を計画・運営する、後輩に伝統を引き継いでいくなどたくさんの意味が込められています。中学校にも繋がりますし、10年後、20年後の将来の力となり、財産となっていきます。未来を作るのは間違いなく子ども達ですから。



